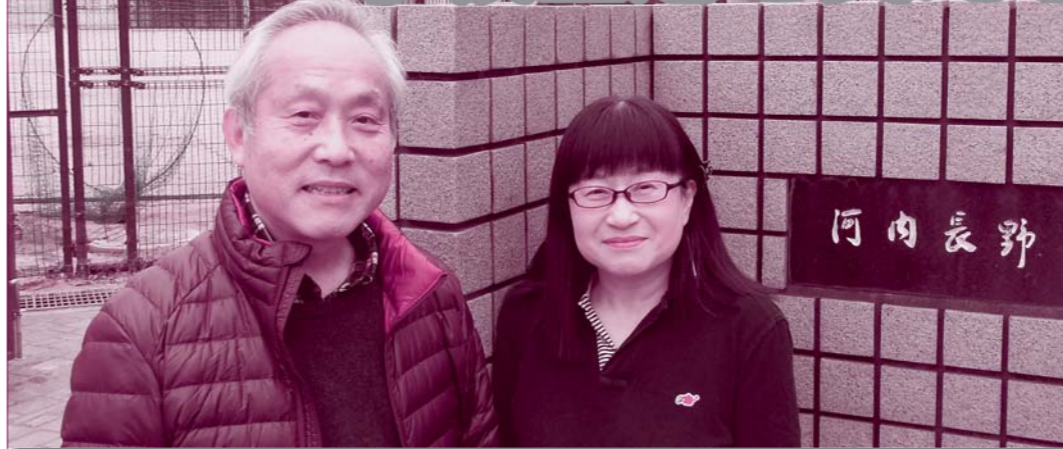


生徒や先生たちのために 学校生活を支える仕事



分会長 塚本 みさ江さん
(学校校務員)
才木 さいき
いちみづ
さん
(学校校務員)

才木さんの職場、河内長野中学校の前にて

小中学校の校務員は、正規・非正規・業務委託など様々な雇用形態となっています。河内長野市は2016年4月から、小中学校の校務員業務と中学校配膳業務を廃止し、小学校の校務員業務はシルバー人材センターなどに委託。労働組合を作ったたかた塚本さん、才木さんは「学校衛生環境管理員」に職務変更され、中学校の校務員として勤務しています。雇用継続を勝ち取った当時(2016年4月号)にも登場した二人に改めて、今の仕事について聞きました。

頼まれること すべてに応えたい

塚本さんは、日々の仕事について「朝7時半から16時の勤務で、各クラスのお茶沸かし、職員の給湯、ランチボックスの配膳、校内外の掃除などをすべて1人でします。職員朝礼にも出るように言われていて、日々の連絡事項や気になる生徒の状況なども聞いています」と話し「やればキリがないですが、子どもたちや先生方が気持ちよく過ごせるように、学校をきれいにしておくこと。自分で納得のいく仕事をとっています」と仕事への思いを話しました。

才木さんは職場の状況について「私が勤める学校は大きいので、ランチボックスの配膳を主にする短時間の校務員と、その他すべての仕事をす

る私と2人体制です」と紹介し、自宅のリフォームをすべて自分でしていることもあり、「校内の修理は頼まれたら何でもします。時間外勤務に制限があるので、生徒のいない時間を見計らって作業することが必要なんです」と語りました。

生徒をそばで 見守る職員として

市立の中学校では毎日、お茶を沸かしてクラスごとに配膳しており、「お茶のやりとりだけでも、クラスの様子がうかがえるんですよ。ヤカンを返さないクラスは次の日に『お茶なし!』ってことも」と笑って話す二人。「生徒たちには『茶ばいば』って呼んでもらっています」とうれしそうに話す塚本さん。前職で写真を生業にしてい

た才木さんは「校内の草花を撮影して、玄関などに飾っています。以前は海外の風景や建物なども配膳室に掲示していました」と評判の良かった写真も紹介してくれました。



「どうやって写したん?」と必ず聞かれる「宙に浮くトマト」。

不安の声上がる 「会計年度任用職員制度」

先日市の説明会があり、今フルタイムの嘱託でも「15分短くしてパートタイムにする」と言われました。「年収は下げない」と言われましたが、手当分を月収から切り離したら、月の収入が減るので困ります。また、「仕事は今でも時間が足りないくらい忙しい」など心配なことを話し、「校務員として、頼まれたことは何でもできるよ、これからもがんばりたい」と、最後に仕事と組合活動への意気込みを話す二人です。

まともな雇用と大幅賃上げ 生活改善を勝ち取るう

2019 国民春闘



1月31日の怒りの総行動デモ。「最低賃金を1500円以上に!」「カジノはいらない!」「9条守ろう!」と声をあげました

新年早々まともや安倍政権の下で、厚生労働省の「毎月勤労統計」の大きな不正・改ざんが発覚しました。これ以上、労働者・国民犠牲の政治は許されません。

1月31日に「2019国民春闘勝利!怒りの労働者総行動」が府内各地で行われ、早朝宣伝、関西経済連合会や関西経済同友会などへの要請・懇談、街頭宣伝やデモなど、のべ400人が参加しました。

すべての労働者・国民の生活と権利を守り、国民要求の実現を求めてたたかってきた国民春闘の歴史に確信を持ち、大きなたたかいを職場や地域でくりひろげましょう。



カジノ誘致及び、大阪市住民投票を行わないよう求める個人請願行動(1月31日大阪市役所前)



1月31日には宣伝隊が各地で「賃金上げて景気回復を」「8時間働けば、普通にくらせる賃金」とアピール(写真は天満橋駅前)

この春、政治を変えて要求実現へ